



## 浜松志耀ロータリークラブ 第74回例会

開催日時: 2026年2月26(木) 11:00 ~ 12:30

開催場所: 万斛庄屋敷 鈴松庵

### ■ 会長挨拶 衛藤会長

ロータリアンのみなさま、こんにちは！

本日は、次年度松井会長エレクトの事業計画作り等に向けまして、クラブ協議会となります。闊達な意見を交わして、よりよい方向性が導かれるとよいですね。

本日のテーマは「ベクトル」です。ミラノ・コルティナオリンピックが盛況のうちに閉幕しました。みなさんは鑑賞されましたか。日本は、過去最高のメダル数を獲得しました。様々な印象的な場面を私たちは見届けましたが、私が特に感動したシーンは、りくりゅうペアのフリープログラムでの演技でした。前日のショートプログラムでの、まさかのリフト失敗、木原選手は、その失敗から立ち直れませんでした。練習でも失敗したことが無い箇所でのミス、オリンピックには魔物が棲むといわれます。男子フィギアでのアメリカ・マリニン選手の思わぬ不出来栄えと失速もありました。りくりゅうペアもその魔物の餌食となってしまうのか。日本時間朝6時すぎ、彼らの演技が始まりました。とても集中している様子でした。序盤で、ひとつひとつの要素を丁寧にこなしていきながら、彼らは自信を取り戻してきます。「美しい、なんて美しい」「宇宙一です！」実況解説をする元ペアダンス日本代表の高橋成美さんも感嘆します。後半からは、楽曲にアンドレア・ボチェッリというイタリアを代表するテノール歌手の独唱が加わってきます。ちなみにこの人は、12歳で失明し、障害を乗り越えて弁護士としても活躍するも、夢を捨てきれずに、テノール歌手となったイタリアを代表する歌手です。その力強くもはかない調べにのって、彼らは氷上をどんどん加速してゆき、すべてのエレメンツを、そこに重力がないかのように軽やかに伸びやかにこなしていき、リフトをしながらのスピンをして演技は終わりました。

フリー演技にはいるとき、パートナーの三浦選手は、年上の木原選手に向けて、こう言ったそうです。「結果のためとか、金を取るためとか、そういうために滑るんじゃない、私はあなたのために滑るよって」。木原選手は、この言葉に励まされ「お互いのために最高の滑りをしよう」と誓い合い、オリンピックという最高の舞台上、最高の演技を、最高のフリー演技得点を叩き出し、結果日本ペア史上初の金メダルを受賞しました。

りくりゅうペアは、金メダルを取ることに対してではなく、お互いに対して「ベクトル」を向けたのです。2019年に初めてペアを組んだこと、国際大会で実績を残すようになったこと、度重なるケガに見舞われてもリハビリを通して二人で一緒に乗り越えてきたこと。そうした絆と信頼に目を向けたことで、あのような素晴らしい後世に語り継がれるような演技をしたのです。

さて、昨年12月には、国際ロータリー第2620地区の地区大会が伊豆ペロドームにて開催されました。台湾から国際ロータリー会長代理として、親子でパストガバナーでもあるウェン・リー・チュウさんが来賓として参加され、今年6月に台北で国際ロータリーの世界大会が開催されることもあり、スピーチをされていました。そのなかで「ロータリーは、数字ではありません、人数でもありません、人です」と日本語で何度もおっしゃっていました。そうです、結果や、数字にばかりとらわれるのではなく、「人」に対して、目の前の人に対して、お互いに対して、メンバーに対して「ベクトル」を向けることが大切なのではないでしょうか。

改めまして本日のテーマは「ベクトル」です。今こうして参加している私たちが、お互いに対して「ベクトル」を向けて、最高の滑りをしましょう！最高のクラブ協議会としましょう。今日は珍しくスピーチで滑らなかつた衛藤でした(笑)。

本日も、よろしくお願いいたします。

### ■ 委嘱状伝達式 衛藤会長

- ・インターアクト委員会委員 及び 青少年交換委員会委員: 小澤邦比呂会員
- ・青少年交換委員会副委員長: リビー・ジョーセフ・マテュー会員

### ■ 議事 次年度クラブ協議会 進行: 松井会長エレクト

次年度の各委員会、どんなクラブにしたいか、そのためにどうすれば良いか、具体的に話し合いました。

皆様からのご意見はBANDに掲載します

### ■ スマイル

- ① 衛藤会長・西川幹事 - 3/24 東クラブとの合同例会への参加をお願いします
- ② 松井会員 - 本日のクラブ協議会への御礼



※出席率: 65.5 % (会場 19名 + BAND 0 = 19名 / 29名)

